参加会議名: ISAF(国際セーリング連盟)総会

総会全日程: 11/7 - 11/14

参加日程: 11/ 6 - 11/10

11/ 6 10:45 - 15:15 東京→広州 18:25 - 20:05 広州→三亜

11/ 7 ISAF 役員、DSC メンバー顔合わせ

11/ 8 9:30 - 18:00 会議

11/ 9 9:30 - 17:00 会議

11/10 9:00 - 10:30 三亜→広州 14:35 - 19:45 広州→東京

場所: 中国海南島、三亜市内

宿泊場所: Kempinski Hotel Haitang Bay

No.2 Haitang North Road, Haitang Bay, 572013 Sanya, China

会議説明: ISAF と IFDS が合併して DSC ができて初めてのコミッティーのメンバーか全員が集まったの初めての会議

会議内容

1. 会議の始めに

a. 歓迎の挨拶

ベツツイ・アリスンがオブザーバー(20 人弱)を含め、全ての出席者を歓迎し、委員会のメンバーを紹介した。背景は IFDS と ISAF が合併する事により、Disabled Sailing Committee が設立されたそして、セーリングをパラリンピックのスポーツに復活させる

b. 参加者と弁明

委員会のすべてメンバーは出席している。オブザーバーを含め、ARG, AUS, CAN, CHN, FRA, GER, GBR, GRE, HKG, IRL, ITA, JPN, KOR, NED, NZL, POL, SIN, USA の 18カ国の参加会議の中で ISAF CEO ピーター・サワリーはコミッティーをサポートするのとスポンサーの可能性を強調し、呼びかけた。

2. ISAF 内の障害者セーリングの未来

a. ISAF Member National Authorities (MNAs)

ISAF の副会長 Scott Perry は 2017 年1月1日をもって ISAF, MNAs を通じ障害者セーリングが単独で加入する件について進捗状況についてコメントしました。幾つかの MNAs においては新しい組織(構造)についての要件をようやく理解し始めたところであり、ISAF は IFDS, RNA と ISAF, MNA が別の組織であるケースでは、異なる国で異なる条件が発生しているため話しあいを開始することとしました。

b. ISAF のパラリンピック開発プログラムについて

ISAF の PDP (パラリンピック開発プログラム) について説明またビデオをみせながらプレゼンが行われた。また、第一回イギリスのウェマウスで行われた開発プログラムのパンフ(添付ファイル Para Sailing Nov 2015 参照) ISAF がビデオとパンフを作り、いかに開発プログラムに力を入れ、パラの競技復活にかけているかわかる。

c. ISAF パラ・ワールド・セーリング・コミッティーとワーキング・パーティーのメンバー

I. コミッティーの名前についての議論

サブミッション 019-15 を考慮した後、当委員会は Para World Sailing Committee

であることか合意された。※ISAF は World Sailing Limited

II. ワーキング・パーティー

PWSC ワーキング・パーティーの召集者

- ・Classification (Bernard Destrube FRA)
- ・Development (Brian Todd CAN)
- ・Events & Scheduling (Peter Wood CAN)
- ・Fundraising (Yuri Gnap RUS)
- ・Sailors Advisory Group (Massimo Dighe ITA)
- ・Technical (Bill Abbott USA)

追加作業として当事者は特定のプロジェクトに対処するために召集する事ができる。ISAF レギュレーション 5.1 に従って指示

III. ワーキングと ISAF コミッティーとの関係

ISAF レギュレーション下のサブミッション 001-14、パラワールドセーリング委員会の表現を設ける

- ・Equipment Committee (Brian Todd)
- ・Equipment Control Sub-Committee (Brian Todd)
- ・International Measurers Sub-Committee (Bill Abbott)
- ・Regional Games Committee (Betsy Alison)
- ・Medical Commission (Bernard Destrube)
- ・ISAF Council (Betsy Alison)

委員会は既に主要なイベントの職員の任命のため、ワーキング・パーティーと協力している

d. IFDS の文章を再ブランドする

※ 以降、当日議事録を参照して下さい

- 須藤より、
- ・2020 パラリンピックが開催されなくてもヨットの施設はハリアーフリー化される事
 - ・広島セーリング連盟は 2020 年までワールドを開催したい。みんなで討議して 2019 のワールド開催が一番可能性高い

会議は私が帰国後も続いており、次回はそんなことのないように確認して決めたいと思っています。